



No. 6 生涯学習ボランティア「悠学の会」企画

なるほどそうか！ 府中の魅力再発見 近代から現代へ ～時代が語る府中～

日時：11/9, 16, 30(金) 14:00～16:00 全3回

場所：生涯学習センター講堂 受講料：1,000円

* 開場は 13:30 の予定

2018 年は、明治維新 150 年にあたります。江戸から東京へ、府中も宿場町と農村から、首都東京の近郊中核都市として、めざましく発展してきました。明治の初めに約 1 万人であった府中の人口は、今、約 26 万人に達しています。

今回のこの講座では、その歩みを、膨張する東京の近郊都市としての府中の発展、府中における鉄道網の展開を中心に学びます。また、さまざまな施設が今どうなっているかを悠学の会チームが現地を探訪して報告します。

回	日程	講師	内容
1	11月9日(金)	磯部 国良氏 (ふるさと文化財課 市史編さん専門員)	東京の膨張と府中 首都東京の膨張がどのように府中に影響を及ぼしてきたかの観点から、近代から現在への府中の発展の全体像を描きます。
2	11月16日(金)	市川 裕太氏 (郷土の森公園交通 遊園、都電 6191 号修復 グループ)	府中の鉄道網の展開 府中は鉄道駅の多いまち、どのように鉄道網がつくられどんな歴史を刻んできたのか、鉄道・電車大好きの講師が報告します。
3	11月30日(金)	生涯学習ボランティア 「悠学の会」 プロジェクト・チーム	近代の遺産を探すまちあるき ・下河原線跡（下河原緑道） ・府中の戦争の記憶（燃料廠、掩体壕） などを訪ね、今どうなっているのか画像で報告します。

定員：290名（申込先着順）

申込先：府中市生涯学習センター受付へ直接、または

TEL: 050-3491-9849

Web: <http://fuchu.shougaigakushu.jp>



内容概要

① 東京の膨張と府中 ～ 全体像を描く

磯部 国良氏

ふるさと文化財課 市史編さん専門員

首都・東京の膨張が府中の発展にどう影響を及ぼしたか？

宿場町から近郊都市へ。人口の急増と府中の主要産業。大規模施設の都心からの移転（多磨墓地、東京競馬場、府中刑務所、東京高等農林学校（東京農工大）、など）。陸軍燃料廠・調布飛行場など戦時施設と戦後の米軍基地時代。高度成長期の大規模団地の建設など。



② 府中の鉄道網の展開

市川 裕太氏

郷土の森公園交通遊園、都電 6191 号修復グループ

府中の鉄道網はどのようにつくられたのか？甲武鉄道（後の中央線）、京王線。機関車から電車へ。中央線から多摩川にのびる 2 本の砂利鉄道。下河原線。戦時下の鉄道輸送（刑務所や燃料廠への引き込み線）。高度成長期の沿線開発と乗客輸送。現在の通勤事情と今後の課題など。



③ 府中の近代の遺産を探すまちあるき

「悠学の会」プロジェクト・チーム

今どうなっているのか、昔どうだったのか、映像で紹介します。

・下河原線跡を訪ねる（下河原緑道）

・戦争の記憶を訪ねる（燃料廠、調布飛行場掩体壕など）

